

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年5月13日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--------------------------|-------------------|------------|
| 事業所番号 | 3870300880 | | |
| 法人名 | 有限会社 ひだまりの会 | | |
| 事業所名 | グループホーム いぶき | | |
| 所在地 | 宇和島市伊吹町甲1368-3 | (電話) 0895-24-7221 | |
| 管理者 | 田中 ちとせ | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 JMACS | | |
| 所在地 | 松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年3月21日 | 評価確定日 | 平成21年5月13日 |

【情報提供票より】 (平成21年3月6日事業所記入)

| | | | |
|----------------------------|--------------------|------------|-----------------------|
| (1)組織概要 | | | |
| 開設年月日 | 平成18年3月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 9 人 | 常勤 | 8人, 非常勤 1人, 常勤換算 8.0人 |
| (2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く) | | | |
| 家賃(平均月額) | 33,000 円 | その他の経費(月額) | 利用状況により異なる |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | 900 円 | |
| (3)利用者の概要 (平成21年3月6日現在) | | | |
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 0 名 | 女性 9 名 |
| 要介護1 | 1 名 | 要介護2 | 1 名 |
| 要介護3 | 4 名 | 要介護4 | 3 名 |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 84 歳 | 最低 75 歳 | 最高 92 歳 |
| (4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算 | | | |
| 指定 (あり)・なし | 指定介護予防認知症対応型共同生活介護 | | |
| 指定 あり・(なし) | 指定認知症対応型通所介護 | | |
| 届出 あり (なし) | 短期利用共同生活介護 | | |
| 加算 (あり)・なし | 医療連携体制加算 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

職員は、料理の方法や味付け等も教えていただきながら、一緒に食事を作っておられる。夜間、利用者から「早う寝さいや」と声をかけてもらったり、ねぎらいの言葉をいただくこともある。
 事業所では、菜の花やつくし、イタドリ等、季節の食材や地元で採れた新鮮な魚を多く採り入れ、利用者が昔から馴染んだ調理方法等、食べ方にも配慮されている。利用者によっては、食材をきざむ等、食べやすさにも配慮され、箸とスプーン両方準備し、スプーンにはガーゼを巻いて持ちやすくされていた。
 センター方式のアセスメント表を用いて、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。現在、ご本人から希望されることは少ないが、日々の職員の気付きや、ご本人の言葉をそのまま記録に留め、職員で話し合い、支援につなげておられる。

【質向上への取組状況】

| |
|--|
| 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| ・この一年間は、終末期のケアや退院後のケア等に配慮した「その人らしい介護計画の作成」に努め、「重度化や終末期支援」の体制の充実に取り組まれた。 |
| 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| ・自己評価について全ての職員で話し合い、管理者とケアマネージャーがまとめられた。職員は、自己評価に取り組み「言葉のかけ方や穏やかな対応」等について、日々を振り返られた。 |
| 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) |
| ・事業所での外出等、行事報告や往診、介護相談員の訪問についても報告されている。自治会長の方より地域行事について教えていただいたり、他グループホームの方にも出席いただき、ケアへの取り組み等も聞かせていただいている。 |
| 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) |
| ・月一回程度、ご家族へ手書きのお手紙と行事や日常生活の様子等の写真を送付されている。ご家族の来訪時やお電話にてご本人の日頃の暮らしぶりや受診の内容、職員異動のことについて報告されている。又、行事へのご家族の参加も呼び掛けておられる。 |
| 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| ・自治会に加入されており、年1回の地域の清掃活動には職員と利用者で参加されている。小学生や幼児等、近所の子供達が遊びに来てくれ、中には赤ちゃんの時から継続して来てくれている子供さんもある。利用者が散髪を希望される時には、近くの理髪店の方が来て下さっている。 |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「**取り組みの事実**」を記入し、**取り組みたい** を付け、適宜その内容を記入すること。

「**取り組みの事実**」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 (有)ひだまりの会 グループホームいぶき

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

田中 ちとせ

評価完了日

平成 21年 3月 6日

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | (自己評価) | | |
| | | | つくりあげている。 | | 近所の数件の方と行き来はある。子供たちは時々遊びに来てくれるが、お年寄りにも立ち寄ってもらえるようにしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | お年寄りの思いに「寄り添い」、生活そのものに「つきあう」ことを理念に揚げ、利用者が地域の中で暮らし続けることを支え、取り組まれている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | ミーティング時、および時をみては話し合いを行っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所の理念と「ありがとうと感謝し助け合い、笑い声が絶えない毎日でありますように」というスローガンを玄関と事務所に掲げ、職員は、毎月のミーティング時、実践できているか話し合われている。 | | |
| 3 | | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 取り組んでいる。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 4 | | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | (自己評価) 日頃の挨拶は欠かさない。十分ではないかもしれないが、散歩時に立ち寄り、施設にも遊びに来ていただけるよう声かけをしている。 | | 芋炊き、花火大会時には遊びに来ていただいている。もう少し行事を増やし、ホームを理解してもらえるように努めていきたい。 |
| 5 | 3 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | (自己評価) 敬老会には参加出来ない。(会場の条件が悪く、1度スタッフが背負って階段の上り下りをした) 地域の清掃は参加している。 祭り時には牛鬼等が来てくれるので楽しんでいる。(寄付を手渡す時に嬉しそうにされている) (外部評価) 自治会に加入されており、年1回の地域の清掃活動には職員と利用者で参加されている。小学生や幼児等、近所の子供達が遊びに来てくれ、中には赤ちゃんの時から継続して来てくれている子供さんもある。利用者が散髪を希望される時には、近くの理髪店の方が来て下さっている。 | | 地域の方から情報を得て、利用者に合う行事であれば、どんどん参加していきたい。 |
| 6 | | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | (自己評価) 十分ではないが、ホーム裏の一人暮らしの方には洗濯物干し時に声を掛けたり、近所の老夫婦宅には散歩時に立ち寄るなど、努力はしている。 | | 数名のお年寄りに来ていただき、お茶でも飲みながらお話しが出来るといいと思っている。 近所の老夫婦にはお弁当を持って花見に来るよう誘っていただいている。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 7 | 4 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | (自己評価) 少しずつではあるが、取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価について全ての職員で話し合い、管理者とケアマネージャーがまとめられた。職員は、自己評価に取り組み「言葉のかけ方や穏やかな対応」等について、日々を振り返られた。この一年間は、終末期のケアや退院後のケア等に配慮した「その人らしい介護計画の作成」に努め、「重度化や終末期支援」の体制の充実に取り組まれた。 | | 評価の機会を活かして、貴事業所のさらなるケアの質向上を目指していかれてほしい。評価の機会を活かして事業所のケアについて話し合ったり、考えるきっかけにしてほしい。たとえば職員研修や運営推進会議時、又、ご家族と話し合う際のきっかけとされてはどうか。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|---|
| 8 | 5 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 利用者家族等からの意見はあまり出ないが、他グループホームの話を聞き、参考にしている。 | | 桜の花見会は今回、公民館を借りる予定。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 事業所での外出等、行事報告や往診、介護相談員の訪問についても報告されている。自治会長の方より地域行事について教えていただいたり、他グループホームの方にも出席いただき、ケアへの取り組み等も聞かせていただいている。 | | 今後さらに、利用者やご家族、出席者の方からの意見等を引き出し、話し合えるよう会議の進め方の工夫を重ねていかれてほしい。 |
| 9 | 6 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 月1回、市の相談員さんの来訪があり、利用者と話しをされている中で学ぶことがある。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 運営推進会議時、市の担当者からは、介護保険制度の改正等について説明をいただいた。事業所では、地域包括支援センター主催の会議や研修等にも参加されている。 | | |
| 10 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | 研修には何度か参加したことはある。 | | |
| 11 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 虐待はない。 | | 利用者がいつも明るく楽しく過ごせるよう努力をする。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 12 | | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時に説明している。家族の方はどこまで見てもらえるのか不安だったと思うが、現在は看取りまでという方針になっている。 | | |
| 13 | | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 市相談員さんが来られた時、運営者が来た時、自由に話してもらうようにしているが、なかなか意見が出ない。意見の出ない人についてはスタッフと話し合いを行っている。 | | |
| 14 | 7 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | (自己評価) 手紙を出したり、電話をしたり、写真を送ったりしている。 | | 状況を報告した時に、家族と共に喜ぶことが出来た。今後も努力していきたい。 |
| | | | (外部評価) 月1回程度、ご家族へ手書きのお手紙と行事や日常生活の様子等の写真を送付されている。ご家族の来訪時やお電話にてご本人の日頃の暮らしぶりや受診の内容、職員異動のことについて報告されている。又、行事へのご家族の参加も呼び掛けておられる。 | | |
| 15 | 8 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 利用者家族に声をかけてはいるものの、言ってもらえない。 | | 家族アンケートの内容を教えて欲しい。 |
| | | | (外部評価) ご家族の訪問時、意見や要望を出していただけるよう声かけされている。事業所からの手紙に、ご家族よりお礼のお手紙をもらうこともある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|------|---|---|---------------------------|--|
| 16 | | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) ミーティング時に出た意見は反映出来ていると思う。 | | |
| 17 | | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | (自己評価) 通院日、往診日などは1名増員体制にしている。 | | |
| 18 | 9 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | (自己評価) 大きな異動はないが、スムーズに行っていると思う。 | | |
| | | | (外部評価) 新しい職員は、先輩職員が2～3回夜勤に同行して、利用者個々の夜間の様子等も申し送りをされている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 19 | 10 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) 研修は出来る限り、受けてもらっている。 | | |
| | | | (外部評価) 県GH連絡協議会や社協が行う研修等に参加され、研修後は、ミーティング時に研修内容を報告されている。法人内の研修もあり、最近は、「感染症対策」について知識を深められた。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 20 | 11 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | | |
| | | | 運営推進会議、又、他グループホームの行事に参加させてもらうことにより勉強になっていると思う。 | | 宇和島にも家族会が出来たので、参加してご家族の意見もしっかり聞いてみたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 市内の他グループホームの夏祭りや焼き芋を楽しむ行事に、利用者と共に参加されたり、南予地区のグループホームを訪問され、アルバムやホーム便り作り等、参考にされた。 | | |
| 21 | | 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | (自己評価) | | |
| | | | 出来るだけ職員の話を書くように努力している。 | | |
| 22 | | 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 努めている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 23 | | 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) | | |
| | | | 忙しいとおろそかになりがちだが、聞くように努力している。 | | 短い時間でもいいので、毎日一人一人の話を聞けるよう努力していく。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 24 | | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | (自己評価) 最近、出入りが少ない。 来られた時や電話のときに話をしたり、聞いたりするようにしている。 | | |
| 25 | | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 十分ではないかもしれないが、出来るだけ情報等伝えている。 | | |
| 26 | 12 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | (自己評価) している。 (外部評価) サービス利用前に、ご本人ご家族に見学いただき、納得の上で利用いただけるよう支援されている。入居後は、ご家族から電話いただいたり、多く訪問していただけるよう、働きかけておられる。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 27 | 13 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | (自己評価) 話の中から、又、調理時等に今までに身につけられた事が出てくる。そのことを理解し、共感することにより信頼関係が出来る。 (外部評価) 職員は、料理の方法や味付け等も教えていただきながら、一緒に食事を作っておられる。夜間、利用者から「早う寝さいや」と声をかけてもらったり、ねぎらいの言葉をいただくこともある。 | | どうしても時間に追われがちなので、ゆっくりとした時間をもう少し作れるようにしたい。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 28 | | 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) 来訪時、電話時、話し合うようにしている。 先日、お母様の声を電話で聞かれたとき返答が良かったとご家族が喜ばれた。職員とも一緒に喜ぶことが出来た。 | | 十分とは言えないと思うので、遠方のご家族には度々電話をするなどして、声を聞いてもらえるようになっていきたい。 |
| 29 | | 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | (自己評価) 支援している。 | | |
| 30 | | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) なかなか馴染みの場所には行けない事も多いので(自宅がすでにない方もおられる)来訪があった時には、またの来訪をお願いするようにしている。 | | これからの馴染みの場所をより多く作っていきたい。 |
| 31 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | (自己評価) 努めている。 | | |
| 32 | | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | (自己評価) 該当者なし。亡くなられた方のご家族に時々電話をしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | | | |
| 33 | 14 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) | | |
| | | | 出来るだけ努めている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | センター方式のアセスメント表を用いて、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。現在、ご本人から希望されることは少ないが、日々の職員の気付きや、ご本人の言葉をそのまま記録に留め、職員で話し合い、支援につなげておられる。 | | |
| 34 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) | | |
| | | | 努めているも、なかなか把握出来ないこともある。 | | |
| 35 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | (自己評価) | | |
| | | | 時には把握外のこともあるが、努力している。 | | |
| 2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 36 | 15 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 努力している。 それぞれの意見やアイデアは取り入れるようにしている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | ご本人の24時間の生活を把握するシートやミーティング時に職員で話し合われたこと、業務日誌等からも職員の気付きを集め、ご家族からの希望等も踏まえて、ご本人の生活を支える介護計画を作成されている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 37 | 16 | 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | (自己評価) | | |
| | | | 出来る限り行っている。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 毎月のミーティング時には、利用者個々についての支援内容についてモニタリングを行い、状態変化時には、随時見直しをされている。 | | |
| 38 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 月に1回のミーティング等で話し合っている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 39 | 17 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 十分ではない。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 職員は、利用者の受診時、同行されたり、時には、利用者の元のご自宅近くを訪れてみることもある。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|---|---------------------------|--|
| 40 | | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | (自己評価) 十分ではないが、ボランティア等の協力は得ている。 | | |
| 41 | | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | (自己評価) していない。 他サービスを利用する方がいない。 | | |
| 42 | | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | (自己評価) していない。 他サービスを利用する方がいない。 | | |
| 43 | 18 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) 事業所の協力医に月2回の往診に来て貰っている。 (外部評価) かかりつけ医とは、電話で薬のことや夜間時の状態について指示を仰いでおられる。歯科、眼科は利用者の今までのかかりつけ医を職員同行のもと受診されている。 | | 入院が必要な場合、病院を紹介してもらっている。 |
| 44 | | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | (自己評価) 支援している。 | | Dr.と相談し、薬を調節しながら支援している。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|--|---------------------------|---|
| 45 | | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | (自己評価) している。 | | |
| 46 | | 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | (自己評価) 家族、または協力医と相談している。 | | |
| 47 | 19 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | (自己評価) 今までは入院して終末を迎えていたが、看取りまでの方針が決まった。1名、最期までここにいたいと希望されている方がいる。 (外部評価) 現在、ご本人、ご家族の希望に添って終末期の支援に取り組んでおられる。かかりつけ医と相談しながら、ご本人、ご家族と話し合いながら取り組まれている。 | | 協力医が気軽に相談に応じてくれている。 事業所では、このたび看取りの指針を明確にされ、今後一人ひとりの利用者、ご家族と話し合いをすすめていきたいと考えておられた。さらに、4月からは訪問看護を受けながら、かかりつけ医やご家族とも協力し合い、ご本人の希望に添った支援に取り組んでいきたいと考えておられた。 |
| 48 | | 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | (自己評価) 行っている。 | | ホームでの看取り経験がないので、他ホームの話を聞く等して参考にし、対応していきたい。 |
| 49 | | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | (自己評価) 現在のところ、ない。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| <p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | | | |
| <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | | | |
| 50 | 20 | <p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>(自己評価)</p> <p>していない。</p> | | |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| 51 | | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>十分ではないかもしれないが、支援している。</p> | | |
| 52 | 21 | <p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>可能な限り、支援しているつもりではいるが、時に職員側の都合では、と考える事もある。 希望は聞いている。</p> | | <p>もう少し、柔軟な対応をしていければと思っている。</p> |
| | | | <p>(外部評価)</p> | | |
| | | | <p>調査訪問時の昼食前後には、居室から外の景色を眺められる方や、庭で職員と椅子に座りおしゃべりをされている方、居間でラジオを聞いている方やテレビの大相撲を楽しんでられる方の様子がうかがえた。</p> | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|---|--|---------------------------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 53 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | (自己評価) 知り合いや顔なじみの理容師さんに来て貰い、散髪している。 | | |
| 54 | 22 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 一緒に準備できる方が少なくなってきたが、出来ることは一緒に行っている。 (外部評価) 事業所では、菜の花やつくし、イタドリ等、季節の食材や地元で採れた新鮮な魚を多く採り入れ、利用者が昔から馴染んだ調理方法等、食べ方にも配慮されている。調査訪問時、利用者は、味見やご飯をよそったり、同じテーブルの方の下膳をされている方の姿もうかがえた。利用者によっては、食材をきざむ等、食べやすさにも配慮され、箸とスプーン両方準備し、スプーンにはガーゼを巻いて持ちやすくされていた。 | | |
| 55 | | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | (自己評価) 飲み物については希望に添えているが、おやつは頂き物だったり、職員の手作りで対応している。誕生日は希望の物にしている。 | | |
| 56 | | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | (自己評価) その人の排尿パターンを知り、声掛けて出来ているが、最近、1名だけ失敗することが出てきた。 | | その人を見て、声かけする。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 57 | 23 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | 入浴時間は午後からにしている。基本は毎日だが、その人の希望で決める。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 体調の良い午前中に入浴をされる方もいる。お気に入りのシャンプーや石けんを利用されたり、敏感肌の方は、薬用石けんを使用されている。 | | |
| 58 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | している。が、徘徊、又は騒ぐ方がいると十分な休息がとれない場合もある。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 59 | 24 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 十分とは言えないまでも応じていると思う。ただ、今まで出来ていたことが出来なくなって来ている方が多くなった) | | より多く、外出出来るようにする。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 近くの子供さんからもらった「一緒に遊びましょう」という手紙を居室に貼って、子供たちが来るのを楽しみされている方や、お気に入りの化粧品を買いに馴染みのお店に出かける方もある。 | | |
| 60 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) | | |
| | | | している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|---|--|---------------------------|---|
| 61 | 25 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | (自己評価) | | |
| | | | すべての希望となると難しいが、状況により可能な限りは行っている。 | | 時間や人員の工夫をし希望に添えるようにしたい。 |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 散歩時に、近くのお宅の花を見せてもらったり、季節のお花見や和霊神社の夏祭りにも出かけておられる。ご家族が遠方から帰省された際には、ご家族と過ごす時間を大切に外泊等も支援されている。「かまぼこ板の絵展」を見学に出かけることもある。 | | 居間の畳のコーナーから出られるように造られたウッドデッキが出来上がり、今後、お茶や食事等も楽しみたいと話しておられた。 |
| 62 | | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | (自己評価) | | |
| | | | 今年のかまぼこ板の絵に家族の方1名の協力が得られた。体力の低下により、遠方への外出は難しくなってきた。 | | 職員だけで難しいことも多いので、ボランティアや家族の協力を得ることが出来れば、と思う。 |
| 63 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) | | |
| | | | 職員が電話をして話をしてもらおうようしている。手紙は貰うことはあるが、やりとり、となると難しいことも多い。 | | |
| 64 | | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | (自己評価) | | |
| | | | 出来ていると思っている。来訪時には「次回も」の声を掛けるようにしている。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|------|--|--|---------------------------|--|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 65 | | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) している。 | | |
| 66 | 26 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | (自己評価) している。(帰宅願望の強い時には本人の安全の為に居室のサッシにかぎをかけることがある。) (外部評価) 昼間、玄関には鍵を掛けていない。 | | |
| 67 | | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | (自己評価) 努力はしている。 | | |
| 68 | | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | (自己評価) している。 | | |
| 69 | | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | (自己評価) その人の状態を知り、取り組んではいるが、転倒はある。 | | 出来る限り、見守りをする。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|---|--|---------------------------|---|
| 70 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | (自己評価) 定期的には行っていない。 協力医に電話をかけるようにしている。 | | 勉強会を持つようにする。 |
| 71 | 27 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | (自己評価) 火災訓練は年2回行っている。近所の人に声を掛けている。 (外部評価) 消防署の方の協力を得て、近隣の方にも参加いただき、避難訓練を行われた。夜間を想定した訓練では、介護度重度の利用者の避難について、シーツを利用して訓練をされた。 | | 今後、事業所では、火災警報機、消防署への緊急連絡装置、スプリンクラーの設置を随時、取り付けることを検討されていた。 |
| 72 | | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | (自己評価) リスクについては十分ではないが、お話しはしている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 73 | | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | (自己評価) 対応している。 | | 申し送りをしている。 |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------|------|--|---|---------------------------|--|
| 74 | | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 努めてはいるも、十分ではない時もある。一人一人の薬の説明書を見ている。 | | |
| 75 | | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | (自己評価) 身体を動かすことは十分とは言えないまでも、取り組みは行っている。水分、センナ茶を摂るようにしている。 | | |
| 76 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | (自己評価) している。 | | |
| 77 | 28 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 声かけを行い、摂ってもらうよう支援している。夜間水分が摂れるよう居室にはお茶を置いている。 (外部評価) 昼食後、職員は、利用者にお茶のお代わりをすすめておられた。夜間は、居室に湯飲みやペットボトルでお茶を用意されている。 | | |
| 78 | | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | (自己評価) している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|------|--|---|---------------------------|--|
| 79 | | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | (自己評価) 努めている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 80 | | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | (自己評価) 玄関は花や緑などを置き、明るい雰囲気になるよう工夫している。 | | |
| 81 | 29 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) 季節の花や壁掛けを飾り、工夫している。 (外部評価) 玄関、テーブルには季節の花が飾られ、壁には木目込みのおひな様が飾られていた。畳のコーナーには、こたつがあり、ソファも置かれている。廊下には、椅子が配されていた。 | | |
| 82 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | (自己評価) している。 | | |

自己評価及び外部評価票

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目) | 取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------|------|--|--|---------------------------|--|
| 83 | 30 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | (自己評価) | | |
| | | | 花を生けるととても喜ばれる。 | | |
| | | | (外部評価) | | |
| | | | 居室には、テーブルやタンスの上に季節の花の鉢植えが置かれていた。テレビ、椅子、タンス、加湿器を持ち込まれている方もあり、お孫さんの結婚式の写真やご家族の写真も飾られていた。お気に入りの化粧品で鏡を見ながらお化粧をされる方もいる。 | | |
| 84 | | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | (自己評価) | | |
| | | | 行っている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | | |
| 85 | | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | している。 | | |
| 86 | | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | (自己評価) | | |
| | | | している。 | | |
| 87 | | 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | (自己評価) | | |
| | | | 新しくベランダを設置したので、時々日向ぼっこをしている。 | | 狭いので全員では難しいが、これから暖かくなって来たらおやつをそこで摂るなど利用していきたい。 |

| . サービスの成果に関する項目 | | |
|-----------------|--|----------------------------------|
| 項目 | 取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと) | 判断した具体的根拠 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 1 ほぼ全ての利用者の 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない | 訴えることが出来ない利用者の思いの汲み取りがなかなか難しい。 |
| 89 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない | おやつのお茶を飲みながらゆっくり話している。 |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 声かけをして希望を聞くようにしている。 |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 職員の支援で反応が見られる。 |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③ 利用者の1/3くらいが 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 4 ほとんどいない | 体力の問題などもあるが、出る人は限られてしまうところもある。 |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 地元協力医に月2回の往診がある。 |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない | 皆さん落ち着いており、笑顔が見られる。 |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 1 ほぼ全ての家族と 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない | すべてとは言えないまでも、努力している。 |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 1 ほぼ毎日のように 3 たまに 4 ほとんどない | 近所の方に遊びに来ていただいたり、お花を持って来てくれたりする。 |

